

「脳波血電極」の付属品 ジャンパ線

【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞ [相互作用の項参照]

- ・可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内で使用しないこと。
[爆発又は火災をおこすことがあるため。]
- ・高圧酸素治療装置と併用しないこと。[爆発又は火災をおこすことがあるため。]
- ・磁気共鳴画像診断装置（MRI）と併用しないこと。[誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがあるため。]
- ・除細動器と併用しないこと。[熱傷を生じさせることや機器が破損する恐れがあるため。]
- ・電気手術器（電気メス）と併用しないこと。[電気メスからの電流が電極に流れ、熱傷を生じることがあるため。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・接続を外すときは、コネクタをしっかりとつかんで外すこと。コードを持って外さないこと。

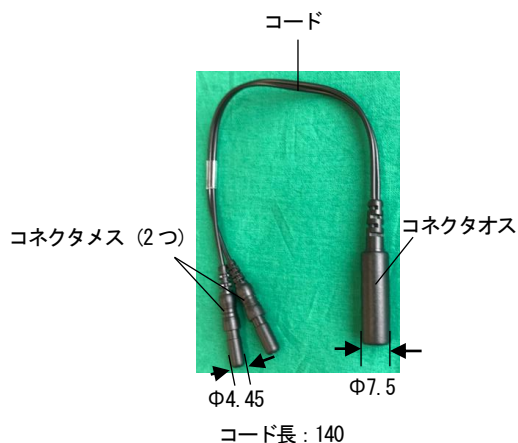
＜相互作用（医薬品・医療機器等との併用に関すること）＞

- ・併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MR装置）	併用禁止	誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがある。
高圧酸素患者治療装置	併用禁止	爆発又は火災をおこすことがある。
可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内での使用	併用禁止	爆発又は火災をおこすことがある。
除細動器	併用禁止	熱傷を生じさせることや機器が破損する恐れがある。
電気手術器（電気メス）	併用禁止	電気メスからの電流が電極に流れ、熱傷を生じることがある。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観



2. 構成

本品は、コネクタメス、コード及びコネクタオスにより構成される。

3. 作動・動作原理

脳波血電極からの信号を分岐させ、脳波計または睡眠評価装置に伝達する。

【使用目的又は効果】

本品は、患者の体表に設置された電極と、記録装置またはヘッドボックスとの間に挿入して使用するジャンパ線である。

【使用方法等】

ジャンパ線のコネクタオスと脳波血電極のコネクタを、図のように、手ごたえがあるまで接続し、挿入してください。



【保管方法及び有効期間等】

耐用期間

本品は消耗品です。

【保守・点検に係る事項】

- ・使用後は、除菌剤で軽く湿らせた布で拭き、清潔にすること。
除菌剤としてはミクロジッドが使用できる。
- ・除菌剤の取扱いについては、メーカーの指示に従うこと。
- ・本品を液体に浸さないこと。
- ・本品は完全に乾かしてから使用すること。
- ・高圧蒸気滅菌（オートクレーブ）は、行なわないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

株式会社フクダ産業
電話番号：04-7147-1622（代）

販売業者

フクダ電子株式会社
電話番号：03-3815-2121（代）